

ICT通信



令和3年11月11日

No.2

ICT環境研究開発委員会

(文責 鈴木瑞穂)

児童生徒用アカウントを取得し、ICT環境が着々と整備されています。様々な機器を積極的にご活用いただき、学校全体で情報を共有しながら、有効な活用の仕方を先生方と一緒に探していきたいと思っております。引き続き、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回は、猪瀬文野先生の実物投影機を活用した授業をご紹介します。

実物投影機の活用 (化学基礎)



拡大して映すことで、注目する部分を見やすく提示できます。



教材を全体で共有することができます。

【生徒の学びの様子】

- ・化学式をもとに生徒たちに分子模型を作製してもらい、それをテレビに投影する形で共有を行いました。
- ・より複雑な分子では、形のイメージがつかない生徒も、画面を見ながら一生懸命に模型を作製していました。

【猪瀬先生から】

今回は、分子模型をテレビに投影することで、分子の立体構造を全体で共有できないかと考え、実践してみました。

授業後には、より見やすい背景の工夫(机上に無地の紙を敷くなど)、指示棒の利用など、たくさんご助言をいただいたので、さらに有効な活用法について、考え続けていきたいと思っております。

実物投影機で教科書をモニターに大きく映すことで、説明している箇所や内容を焦点化することができます。児童生徒がどこを見たり、読んだりすればいいかわからないときに確認ができるので、学習意欲や集中力を高めることができると思います。積極的に使っていただき、お勧めの使い方を教えてください。